

ドラッグインフォメーション

2019年11月改訂

販売名	ヨウ素「コザカイ・M」	発売元	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 ヨウ素	製造販売元	小堺製薬株式会社	
洋名	Iodine	発売年月	1949年8月	
一般名	ヨウ素	薬価収載年月	1950年10月	
剤形	散剤	薬価	1g 10.30	健保適用
規制区分	劇薬	日本標準商品分類番号	87719	
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	2612702X1055	YJコード	2612702X1055	
性状	本剤は灰黒色の板状又は粒状の重い結晶で、金属性の光沢があり、特異なにおいがある。ジエチルエーテルに溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。ヨウ化カリウム試液に溶ける。常温で揮散する。			
組成	本品 1g 中に日局ヨウ素 1g を含有する。			
効能効果	ヨードチンキ、希ヨードチンキ、複方ヨード・グリセリン等の調剤に用いる。			
用法用量	ヨードチンキ、希ヨードチンキ、複方ヨード・グリセリン等の調剤に用いる。			
使用上の注意	<p>【禁忌】 本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>【使用上の注意】 副作用 1.副作用等発現状況の概要 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。 2.重大な副作用 アナフィラキシー(頻度不明): アナフィラキシー(呼吸困難、喉頭浮腫、喘鳴、蕁麻疹、潮紅等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。</p>			
薬効薬理	グラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌、ウイルス、かび類に有効である。ヨードチンキはヨウ素にヨウ化カリウムを加えて可溶化しエタノール液とした製剤で、速効的な殺菌力を持つ。刺激性が強いため、創傷や口腔粘膜に用いると皮膚炎の原因となることもある。作用機序としてはアミノ酸、ヌクレオチドに対する酸化作用などが考えられている。			
薬物動態	皮膚潰瘍患者に1日1回2週間、約3mmの厚さに散布すると尿中ヨウ素排泄量が増大する。血漿中たん白結合ヨウ素濃度には変動は認められず、ヨウ素は速やかに排泄される。			
取扱上の注意	皮膚や他の物に付着したり、こぼしたりしないよう十分注意すること。 規制区分:本品は劇薬である。 貯法:気密容器 使用期限:ラベルに記載(3年) 配合変化:アルカロイド、アルカリ、炭酸アルカリ、アンモニア、鉄、植物油、抱水クロラール、フェノール、チオ硫酸ナトリウム、タンニンなどと配合変化する。でんぷん含有物は青変する。			
備考	包装単位:25g、500g	文献請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央 5-1-10 電話:03-3381-2004	